



2021年5月14日

各位

会社名　　ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社  
代表者名　　代表取締役社長 CEO 兼グループ CEO 小野 有理  
　　　　　　　(コード番号 6699 東証第一部)  
問合せ先　　常務執行役員 CFO 徳原 英真  
　　　　　　　(TEL 06-6302-8211)

**2021年3月期の連結業績予想と実績値との差異  
並びに営業外収益、特別損失、法人税等及び法人税等調整額の計上  
及び配当予想の修正に関するお知らせ**

2021年2月12日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じました。

また、2021年3月期の配当予想についても下記の通り修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績予想値と実績値との差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 69,500	百万円 1,300	百万円 1,000	百万円 △480	円 銭 △70.20
実績値 (B)	70,639	2,247	2,470	95	13.90
増減額 (B-A)	1,139	947	1,470	575	
増減率 (%)	1.6	72.9	147.1	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	71,012	511	143	△1,776	△340.43

2. 差異の理由

売上高については、エネルギーソリューション事業の住宅向け蓄電ハイブリッドシステム(E I B S 7)の需要増加と新規OEMルートへの拡販が継続し、製品販売が想定を超えて好調に推移したことにより、業績予想値を大幅に上回りました。

営業利益については、エネルギーソリューション事業の売上増加による影響が大きく、さらに、経費節減等の諸施策を継続した結果、売上高と同じく業績予想数値を大幅に上回りました。

経常利益については、為替相場変動による為替差益を3億50百万円計上したことが影響し、営業利益の増加額を超えて業績予想数値を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、タイ国内子会社の拠点集約による工場資産の減損2億23百万円、米国内子会社の業績悪化による繰延税金資産の取崩3億42百万円、国内連結納税適用による法人税等3億66百万円等による特別損失及び法人税等が生じ、経常利益の増加額が打ち消されたものの、業績予想値を5億75百万円上回りました。

### 3. 期末配当予想の修正

	年間配当金（円）				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
当期実績	-	2.50	-		
直近の配当予想 (2021年2月12日 発表)	-	2.50	-	2.50	5.00
今回修正予想	-	2.50	-	12.50	15.00
(ご参考) 前年度実績 (2020年3月期)	-	12.50	-	5.00	17.50

### 4. 修正の理由

当社は、企業体質の一層の強化及び将来の成長分野への投資のために必要な内部留保を確保し、安定配当の維持と向上を図ることを基本方針としております。

当年度の配当につきましては、上記の基本方針に基づき、本日発表いたしました2021年3月期通期連結業績等も踏まえて検討した結果、2021年3月期の期末配当金を、1株当たり2円50銭から10円増配し12円50銭へと修正いたします。

以 上